

## 朝 礼 拝 順 序 ( 午 前 10 時 半 )

- 前 奏 + 5分前着席黙祷 予め聖書、ソングシートまたは讃美歌を準備
- 開 会 招 詞 イザヤ書35章3-6節 司式 L. スパーリンク宣教師
- \* 賛 美 歌 5めぐみゆたけき主を(讃美歌12) 奏楽大日南苗香姉妹
- \* 開 会 祈 禱 ( 主のご挨拶 )

## 罪 の 告 白 祈 禱 書 2

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。

主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。

主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

(詩編51)

## 罪の赦しの宣言：(ヨハネの第一の手紙2章より)

## 十 戒 祈 禱 書 4

- あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
- あなたはいかなる像も造ってはならない。あなたはそれらに向かつてひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。
- あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を、主は罰せずにはおかれぬ。
- 安息日を心に留め、これを聖別せよ。
- あなたの父と母を敬え。
- あなたは殺してはならない。
- あなたは姦淫してはならない。
- あなたは盗んではならない。
- あなたは隣人に関して偽証してはならない。
- あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。

(出エジプト20、申命記5)

- \* 賛 美 歌 50かいぬしわが主よ(讃美歌354)

## 公 同 の 祈 禱 祈 禱 書 15 復 活 節 ( 第 二 主 日 主 の 復 活 )

力の主なる神さま、あなたの御子、わたしたちの主イエス・キリストの栄光に満ちた復活を覚えて、御名を心からほめたたえます。

あなたは、御力<sup>みちから</sup>によって、主イエスを死人<sup>しにん</sup>の中から復活<sup>ふっかつ</sup>させられました。墓<sup>はか</sup>からよみがえられた主<sup>しゅ</sup>は、わたしたちを罪<sup>つみ</sup>の縄目<sup>なわめ</sup>と死<sup>し</sup>の恐れ<sup>おそ</sup>から解放<sup>かいほう</sup>し、勝利<sup>しょうり</sup>を宣言<sup>せんげん</sup>してくださいました。

あなたは、全て<sup>すべ</sup>彼<sup>かれ</sup>を信<sup>しん</sup>じる者<sup>もの</sup>に、神<sup>かみ</sup>の子<sup>こ</sup>らの栄光<sup>えいこう</sup>に輝<sup>かがや</sup>く自由<sup>じゆう</sup>にあずかる特権<sup>とっけん</sup>をお与<sup>あた</sup>えくださり、永遠<sup>えいえん</sup>の命<sup>いのち</sup>を約束<sup>やくそく</sup>してくださいましたことを感謝<sup>かんしゃ</sup>します。

今<sup>いま</sup>、よみがえりの主<sup>しゅ</sup>がわたしたちと共<sup>とも</sup>にいますことを覚えて、御名<sup>おぼ</sup>を心<sup>み</sup>から賛美<sup>な</sup>します。 (司式者<sup>ししきしや</sup>による祈<sup>いのり</sup>りがこれに続<sup>つづ</sup>く。)

(Iコリント15、ローマ6～8)

献 金 (黒)教会活動 (赤)広島忠海の聖恵会 70

毎週の礼拝献金については、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。

(毎月の教会献金、月定についても、同様に、まとめてお捧げください。)

聖書朗読 ヨハネによる福音書9章1-12節

(新約184頁)

説教・祈祷 試練を祝福に変える主イエス L. スパーリンク宣教師

\* 賛美歌 62ひとたびは死にし身も(讚美歌532)

\* 主の祈り 祈祷書1

天<sup>てん</sup>にましますわれ<sup>われ</sup>の父<sup>ちち</sup>よ  
願<sup>ねが</sup>わくは御名<sup>みな</sup>をあがめさせたまえ  
御国<sup>みくに</sup>を来<sup>き</sup>たらせたまえ  
御心<sup>みこころ</sup>の天<sup>てん</sup>になるごとく 地<sup>ち</sup>にもなさせたまえ  
われ<sup>われ</sup>の日用<sup>にちよう</sup>の糧<sup>かて</sup>を 今日<sup>きょう</sup>も与<sup>あた</sup>えたまえ  
我<sup>われ</sup>らに罪<sup>つみ</sup>を犯<sup>おか</sup>す者<sup>もの</sup>を我<sup>われ</sup>らが許<sup>ゆる</sup>すごとく  
我<sup>われ</sup>らの罪<sup>つみ</sup>をも許<sup>ゆる</sup>したまえ  
我<sup>われ</sup>らを試<sup>こころ</sup>みに会<sup>あ</sup>わせず 悪<sup>あく</sup>より救<sup>すく</sup>い出<sup>だ</sup>したまえ  
国<sup>くに</sup>と力<sup>ちから</sup>と栄<sup>さか</sup>えとは 限<sup>かぎ</sup>りなく汝<sup>なんじ</sup>のものなればなり

アーメン。

\* 頌 栄 64み恵みあふるる(讚美歌540)

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

## 説教題：試練を祝福に変える主イエス

聖書箇所：ヨハネによる福音書9章1-12節（新共同訳聖書、新約聖書184頁）

参 照：ハイデルベルク信仰問答問 Q. & A. 1、26-28

説 教 者：ローレンス・スパーリンク（キリスト改革派日本伝道会宣教師）

説教の中心的主張点： たとえ、私たちに理解することができなくても、全能の憐れみ深い主は、すべてのことを、ご自分の栄光とその民である私たちの、究極的な祝福のために用いてくださる。

### ヨハネによる福音書9章1-12節：

さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。わたしたちは、わたしをお遣わしになった方の業を、まだ日のあるうちに行わねばならない。だれも働くことのできない夜が来る。わたしは、世にいる間、世の光である。」こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。そして、「シロアム—『遣わされた者』という意味—の池に行って洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。近所の人々や、彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座って物乞いをしていた人ではないか」と言った。「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいた。本人は、「わたしがそうなのです」と言った。そこで人々が、「では、お前の目はどのようにして開いたのか」と言うと、彼は答えた。「イエスという方が、土をこねてわたしの目に塗り、『シロアムに行って洗いなさい』と言われました。そこで、行って洗ったら、見えるようになったのです。」人々が「その人はどこにいるのか」と言うと、彼は「知りません」と言った。

序説： 今日の聖書箇所を初めて説教するのではありません。今日、この聖句を選んだのは、ここに今日の特に必要なメッセージがあるからです！ そのメッセージとは、本日の中心的主張点に書いてありますから、これを今と一緒に読みましょう。「たとえ、私たちに理解することができなくても、全能の憐れみ深い主はすべてのことを、ご自分の栄光とその民である私たちの究極的な祝福のために用いてくださる。」これなんですね。

1、人生にわたって「不幸」と思われることが、数え切れないほどたくさんあります。聖書に実例もたくさんあるのです。全世界に及ぶ大飢饉もあれば、ヨブ物語もあり、今日の聖句にも一つあったのですね。生まれつきの盲人のストーリーです。

イ、新型コロナウイルスは言うまでもなく世界規模の「不幸」ですが、過去にも同類があったことが誰にでもわかることです。その後、何年間にもわたってインパクトが現れ続けるようなものです。東日本大震災もそうでした。さかのぼっていくと、最悪と言われるのは、いわゆる Black Death（黒死病）の流行は14世紀のヨーロッパを襲いました。実は、20世紀においてもコレラ病とインフルエンザによる大規模の災害が3回もありました。

口、私たちが味わう不幸はよく原因が私たち人間にあります。不正な支配者がいて、後を絶ちませんし、戦争が人手によって起こります。今回のコロナウィルスは中国の研究室で人間が作ったのではとの情報があります。生体武器の研究だったのかとか、いろいろな噂が流行っています。自然界における災害もあるのです。事故もいろいろな不幸をもたらします。

ハ、身近なものもあり、「味わったことがない」と言える人は一人もいないでしょう。いじめもあり、難病もあり、火災などなど、いろいろあります。コロナウィルスにかかって亡くなられた知人いますか。宣教師先輩のクレス宣教師夫人が先日これで天に召されました。次々と現れるかもしれません。恐ろしいものです。

## 2、これらに対して、どんな反応があるでしょうか。

イ、まずは、これらがあることについて嘆くことが当然です。恐れと悲しみを隠すことは私たちの文化にかなうかもしれませんが、多くの場合、鬱状態に陥ることにつながります。嘆くことは周りの人に迷惑をかけることではありません。詩篇を読めば、昔の主の民がどれだけ悲しみを表現して祈りによってどのように神様にぶつけたかが見えてきます。場合によって、これらを私たちの祈りにしてそのまま用いることができます。

口、もう一つの反応は、誰かのせいにすることです。人のせいにするのか、神様のせいにするのか？ 安倍首相が悪いから、トランプ大統領の失敗だとか、人を咎めることがよく聞こえます。自分が不幸であると感じる時に、親が悪かったから、あるいは、飲酒運転手が起こしたとか、意地の悪い神様のせいだとか、いろいろあります。自分自身がダメものだからという人もいます。自分がダメだから、このような不幸に値する。このように思うことはとても危険ですね。自分の悲しみと怒りをどこかにぶつけようとするのは人間らしいことですが、自分自身を余計に咎めることはいろいろな心の病につながりますから、要注意です。

ハ、もう一つの反応があります。それは因果応報、カルマによると言う考え方です。特に古代アジアから今に至るまで存在する思い込みです。生まれ変わる前に生きた人生で悪いことをしたから、今のは天罰だということです。裁き付けることがいかに人間くさいことでしょうか。「人が悪いのだ！」でなければ「天罰だ！」と誤ってしまいます。

二、有名なヨブ記の例を確認しましょう。また次に、生まれつき目が見えない人の例もあります。ヨブの場合は、とんでもない苦しみを味わわせられる、その要因はどこにあるのか、これをめぐって書かれています。ヨブを慰めにくる友人たちは、「お前が酷い罪を犯したはずだ」と厳しい結論に至ります。でも、その本当の原因はそこにあつたのではないことを示します。ごく限られた人間には見えないところで要因があつたのです。あるいは、今度はヨハネによる福音書9章に出てくる生まれつきの盲人の話もあります。これを少しの間注目しましょう。

## 3、弟子たちの質問とイエス様の答え、対応を確認しましょう。

イ、要因を人の罪にあると考え、裁き付ける弟子の考えを主イエスは正します。2節をもう一度読みましょう。「弟子たちがイエスに尋ねた。『ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。』」つまり、誰かが罪を犯したからこうなっているのだと、ここで弟子たちの思い込みが鮮やかに表れています。実は、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、私の兄に重い障害がありました。父は、自分が悪いから自分のせいだと思い込んでいたのです。自分を責める辛さや悲しみがあって、次第にアルコール依存症になってしまいました。当時、教会の人々の反応はどうだったかという、親切に関わる人もいたのですが、やはり、ある類の偏見を抱く人もいまし

た。この盲人の場合はどうだったでしょうか。物乞いをしているのを見て、施しをする親切な方々もありますが、宗教的指導者のパリサイ派の考えは34節に現れています。「彼らは、『お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか』と言い返し、彼を外に追い出した。」でも私たちが注目したいのは、イエス様のお考えです。ここで、弟子たちの思いをはっきりとひっくり返してこれを正します。生まれつき目が見えないのは「神の業がこの人に現れるためである。」とおっしゃいます。「神の業がこの人に現れるためである。」あるいはもっと正確に、「神の業がこの人によって現れるためである。」

口、これらのイエス様のお言葉と癒しの奇跡の意味は何でしょうか。実は複数の意味があります。

- ①、ここで見ることはまず、惨めな状態にいるこの人に対するイエス様の憐れみです。この世においでになった神の独り子が現れたのは、命を与えるためです。罪と罪がもたらすあらゆる苦しみから解放してくださるためです。この世界は、人間の社会も自然界も、壊れています。しかしイエス様はこれを癒す力を持っておられます。あらゆる病人を癒して、人を悩ます悪霊を追い出して、死人も生き返らせる技によってこれがよくわかります。
- ②、次に示されるのは、ご自身が天から送られてきた、約束された救い主であることを立証することです。わざわざ、「シロアムの池に行き目洗いなさい」と命じられるのはこのためです。7-8章に渡って、イエス様とユダヤ人の論争が記されています。イエス様のこの奇跡では、ご自身が唯一の「遣わされたもの」と意味します。ユダヤ人の有力者はこのイエス様を受け入れないで、むしろ、この方を侮辱しますが、貧しい、惨めな状態にあったものが救われて、これを見て感謝する人たちは感動して、イエス様を信じます。

ハ、生まれつきの盲目を癒す救い主がおいでになりました！ 預言者イザヤが予言した通りです！「心おののく人々に言え、『雄々しくあれ、恐れるな。見よ、あなたたちの神を。敵を打ち、悪に報いる神が来られる。神は来て、あなたたちを救われる。そのとき、見えない人の目が開き／聞こえない人の耳が開く。』」（イザヤ書35章4-5節）。文字どおり、見えない目を開き、人が不幸から幸せに移る出来事です。あるいは、その不幸を祝福に変えてくださいます。9章の終わりまで読むと、この人は直ちにイエス様の弟子の一人となることがわかります。めでたい結末です！

4、私たちが聖書の中に出会う唯一の生ける神は全能にして憐れみ深い主であり、その聖い目的のためにすべての運びを導くお方です。全く正しいお方で、その裁きはすべて誠と正義に基づきます。また、ご自分がお造りになったすべてのものに対して憐れみ深いお方ですが、背くものの罪をいつまでも罰しないではおかれません。

イ、私たちが味わう辛いことがたくさんありますが、その裏面を見る場合もあれば、理解できない場合もあります。このことあのごとがどのように全能者のご計画に沿うのか、実にヨブのように、理解できないことが多いです。でも場合によって、主のお働きにハッとすることもあります。大昔の主が地上におられた時の技だけではなく、今日にも現れる技にです。

口、このお方を信頼し頼りにしていますか。ローマの信徒への手紙8章28節の言葉が有名です。「神はその愛する民のためにすべてを働かせて益としてくださることを知っている」とあります。英訳と原文に「神」が主語です！しかし、冒頭に「私たちは知っている」とあります。これがそうだから、ハイデルベルク信仰問答の第1問の答えは次のようにこの信仰を表現します。「天にいますわたしの父のみ旨でなければ 髪の毛一本も落ちることができないほどに、わたしを守っていただきます。実に万事がわたしの救いのために働くのです。」

敬愛する兄弟姉妹たち、「これを知っている」とちゃんと言えるのでしょうか。ちょっと長くなりますが、終わりに3つの助言をお伝えします。

八、誰か苦しみの中にある方だと認める時に、同情を持って関わりながら、主のわざを待ち望みましょう。優しい心をもって親切を施しましょう。さばいたり、決めつけたり、偏見で見たりしてはいけません。主はとうとうご自分の愛を示してください。これを期待してください。

二、次に、自分が試練に出会うとき、信仰者に期待できる喜びがあることを信じましょう。ヤコブの手紙1章にある勧めですが、試練に出会うときに喜びなさいと言います。試練を味わわなければ経験できない喜びがあるからです。この道によって忍耐を学び、ついに完全なものと仕上げられます。

ホ、最後に、私たちの観点の限界があることを受け止めて、主になお信頼することにしましょう。このことについて宿題を出します。創世記にあるヨセフ物語を読んでください。創世記37-50章です。ヨセフは数々の試練に出会うことによって、ついに、その一族だけでなく、国々を救うものとなり、私たちの主イエス様の救いの技の形をあらかじめ示してくれます。

決論：

主の許しの下で試練に出会い、これを通る多くの場合、苦しみと一緒に新しい歌を歌うようになります。主がその新しい歌を授けてくださいます。

つい先々週、実に生まれつき目が見えない友人に、2011年の東日本大震災とその後の支援活動を話しました。この人は不思議な才能があって、話を聞くと直ちに歌を作詞、作曲してキーボードを弾きながら演奏します。

東北地方を襲った激しい地の揺れと津波に続いて別のものが東北を襲いました。それは愛の波でした。今も続いています。友人の歌の最後の言葉を忘れることができません。“Grant that in these ashes we’ll find gold.”です。つまり、「これらの荒廃の中で黄金を見出させてください。」という意味です。

どうか、皆様が出会う試練の時に、まさに今のコロナウィルスの恐ろしい時に、神様が私たちの不幸を通してその栄光を示し、私たちの祝福と変えてくださいますように。アーメン。